

## 2022年8月期 決算短信(日本基準)(連結)

2022年10月14日

上場会社名 株式会社 エッチ・ケー・エス  
 コード番号 7219 URL <https://www.hks-global.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水口 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務部長 (氏名) 赤池 龍記

TEL 0544-29-1111

定時株主総会開催予定日 2022年11月29日 配当支払開始予定日 2022年11月30日

有価証券報告書提出予定日 2022年11月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年8月期の連結業績(2021年9月1日～2022年8月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年8月期	8,629	8.3	532	43.0	720	58.1	496	40.9
2021年8月期	7,971	10.3	372	281.5	455	224.9	352	137.3

(注) 包括利益 2022年8月期 627百万円 (56.5%) 2021年8月期 400百万円 (255.0%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年8月期	350.65		5.4	5.6	6.2
2021年8月期	248.93		4.0	3.8	4.7

(参考) 持分法投資損益 2022年8月期 百万円 2021年8月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年8月期	13,091	9,520	72.6	6,717.44
2021年8月期	12,483	8,978	71.9	6,344.69

(参考) 自己資本 2022年8月期 9,505百万円 2021年8月期 8,978百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年8月期	658	946	166	1,848
2021年8月期	1,212	277	312	2,255

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年8月期		0.00		36.00	36.00	50	14.5	0.6
2022年8月期		0.00		50.00	50.00	70	14.3	0.7
2023年8月期(予想)		0.00		50.00	50.00		22.8	

(注) 2023年8月期の配当につきましては、当社創立50周年を迎えるにあたりまして、1株につき14円の記念配当を実施することとし、1株当たりの期末配当は、普通配当36円と合わせて50円を予定しております。

### 3. 2023年8月期の連結業績予想(2022年9月1日～2023年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,200	6.9	135	51.4	150	56.5	100	69.4	70.67
通期	9,000	4.3	450	15.5	475	34.1	310	37.5	219.08

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年8月期	1,600,000 株	2021年8月期	1,600,000 株
期末自己株式数	2022年8月期	185,005 株	2021年8月期	184,956 株
期中平均株式数	2022年8月期	1,415,042 株	2021年8月期	1,415,044 株

(参考)個別業績の概要

2022年8月期の個別業績(2021年9月1日～2022年8月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年8月期	6,813	6.8	362	53.2	589	78.8	423	61.3
2021年8月期	6,379	9.0	236	213.1	329	115.1	262	49.4

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2022年8月期	299.37	
2021年8月期	185.63	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年8月期	11,802	8,659	73.4	6,120.14
2021年8月期	11,416	8,311	72.8	5,873.51

(参考) 自己資本 2022年8月期 8,659百万円 2021年8月期 8,311百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しとの将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項については4頁「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(会計方針の変更) .....	14
(セグメント情報等) .....	15
(1株当たり情報) .....	16
4. 個別財務諸表 .....	17
(1) 貸借対照表 .....	17
(2) 損益計算書 .....	19
(3) 株主資本等変動計算書 .....	20

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症へのワクチン接種の進展や政府の各種政策等から、一時は持ち直しの動きがみられましたが、新たな変異株の出現による感染再拡大により再び経済活動が抑制される等、厳しい状況で推移しました。さらに、上海等におけるロックダウン等の公衆衛生上の措置による影響も国内経済へと波及しましたが、これら内外の感染症の動向に加えて、長期化するロシアのウクライナ侵攻を背景とした資源価格や原油価格の世界的な高騰、先進国を中心としたインフレ高進による経済・物価情勢への影響、さらには日米の金利差拡大等による急激な円安の進行等、先行きは依然として不透明な状態にあります。

海外に目を向けますと、米国経済は、これまで積み上がってきた消費者需要の盛り上がりから、個人消費を中心に景気は回復しました。中国経済も、感染拡大に伴う厳格な公衆衛生上の措置の影響が和らぐもとの、下押しされた状態から持ち直しつつあります。欧州経済は、エネルギー価格上昇等の影響により減速しつつも、経済活動の再開が続くもとの、基調としては回復しています。

このようななか、当社が主力とするアフターマーケット事業におきましては、国内市場においては、引き続き堅調な巣ごもり需要に支えられるとともに、新商品の投入効果等もあり、主にマフラー商材やターボ・エンジン関連商材で売上が好調に推移しました。なお、サスペンション商材においては、7月より新規ラインアップ「HIPERMAX R」の展開を開始し、対応車種の拡大を進めながら、こちらも好調に推移しております。海外市場においては、引き続き船便の確保や輸送コストの上昇が課題として残るものの、好調な米国向けが需要を牽引し、マフラー商材やサスペンション商材、スーパーチャージャー等が好調に推移したことから、売上全体では前年同期を上回りました。なお、第3四半期連結会計期間にて、ロックダウン等の影響で出荷が足止めとなっていた中国向けについては、出荷が徐々に回復基調にあります。

このような環境のもと、当社は主要商材のひとつであるマフラー商材の生産能力を高めるため、タイ国にあるマフラー生産子会社の工場拡張と生産能力増強に取り組むとともに、本社工場においては、工場内レイアウトの見直しや生産設備の増強等をすすめてまいりました。これにより、国内外で高まる需要にタイムリーに対応するとともに、体験、体感に訴えるイベントや試乗会、SNS等を通じてお客様との接点を増やすことで、より市場の声を反映した、お客様に喜んでいただけるものづくりを推進するための施策に取り組んでおります。

アフターマーケット以外の分野では、一部の製品にて、供給制約の影響等による委託企業の生産調整の影響は残るものの、開発受託売上の伸び等に牽引され、売上全体では前期を上回りました。以上の結果、当連結会計年度における連結売上高は8,629百万円（前期比8.3%増）となりました。

損益面では、原材料価格の高騰や電気料等の上昇に加え、販売費及び一般管理費が、輸送費の高騰による販売運送費の増加や、労働環境の整備等に伴う修繕保守料の増加、および前期に控えていた広告宣伝費や旅費交通費の増加等により前期比で221百万円増加しましたが、売上高の増加と、増産による工場稼働率の上昇等による売上総利益率の改善により、営業利益は532百万円（前期比43.0%増）となりました。経常利益は、為替が前連結会計年度末に比べて円安に進んだこと等から720百万円（前期比58.1%増）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は、土地等の売却による固定資産売却益はありましたが、製品の自主回収に伴う補償費、および土地に対する減損損失の計上等により496百万円（前期比40.9%増）となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を当連結会計年度の期首より適用しております。詳細については、「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」に記載しております。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度における総資産は、前連結会計年度末に比べ607百万円増加し、13,091百万円となりました。このうち流動資産は、前連結会計年度末に比べ128百万円減少し、6,289百万円となりました。これは主に、欠品による失注防止のため、顧客需要の高い製品を中心に製品が398百万円増加したものの、満期償還等により有価証券が399百万円、現金及び預金が106百万円、それぞれ減少したこと等によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ736百万円増加し、6,801百万円となりました。これは主に、売却および減損損失の計上等により土地が146百万円減少したものの、新規取組等により投資有価証券が831百万円増加したこと等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ65百万円増加し、3,571百万円となりました。このうち流動負債は、前連結会計年度末に比べ90百万円減少し、2,510百万円となりました。これは主に、製品補償引当金70百万円等の増加がありましたが、短期借入金が241百万円減少したこと等によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ155百万円増加し、1,061百万円となりました。これは主に、長期借入金132百万円増加したこと等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ542百万円増加し、9,520百万円となりました。これは主に、利益剰余金が411百万円、為替換算調整勘定が106百万円、それぞれ増加したこと等によるものです。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）残高は、前連結会計年度末に比べ406百万円減少し、1,848百万円となりました。

なお、各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果取得した資金は658百万円（前期は1,212百万円の取得）となりました。これは主に、棚卸資産の増加額259百万円、法人税等の支払額177百万円等の資金の減少要因がありましたが、税金等調整前当期純利益692百万円、減価償却費573百万円等の資金の増加要因があったことによるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は946百万円（前期は277百万円の使用）となりました。これは主に、投資有価証券の取得額805百万円等の支出があったことによるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は166百万円（前期は312百万円の使用）となりました。これは主に、長期借入金の増加額190百万円の増加要因がありましたが、短期借入金の減少額300百万円等の減少要因があったことによるものです。

当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりです。

	2020年8月期	2021年8月期	2022年8月期
自己資本比率(%)	73.3	71.9	72.6
時価ベースの自己資本比率(%)	19.7	21.0	21.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	3.8	1.0	1.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	69.1	272.2	560.8

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

4. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

#### (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響下、新たな変異株による感染の再拡大はありましたが、今後はワクチン接種の進展に加え、政府の経済対策や世界的な供給制約の緩和、外需の増加等により、資源価格の上昇等による交易条件の悪化等の下振れリスクを抱えつつも、景気は緩やかな回復に向かっているものと予想しております。当社におきましては、当連結会計年度は巣ごもり消費の影響もあり業績は好調でしたが、今後も半導体を中心とした世界的な部品調達難や、資源価格の高騰と海外の経済・物価動向による原材料価格の上昇、コンテナ不足と輸送費の高騰等、次期の売上高・利益に影響を及ぼす要因が多々あります。そのようななか、当社では引き続きトヨタGR86やGRヤリス、スバルBRZ、WRX等、当社が重点車種として積極的に新製品の投入を行うスポーツタイプの車両に注力していくとともに、リリースされて間もない日産フェアレディZや、間もなくリリース予定のトヨタGRカローラにつきましても、お客様をお待たせしない、迅速かつ積極的な製品開発に取り組んでまいります。

こうした状況を踏まえ、次期の連結売上高は9,000百万円(前期比4.3%増)、営業利益は450百万円(前期比15.5%減)、経常利益は当期のような為替差益を見込んでおらず475百万円(前期比34.1%減)、親会社に帰属する当期純利益は310百万円(前期比37.5%減)を予想しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性を考慮し、日本基準を採用しております。なお、今後のIFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を踏まえ、検討を進めていく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当連結会計年度 (2022年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,055,107	1,948,545
受取手形及び売掛金	1,208,617	—
電子記録債権	—	114,935
売掛金	—	951,374
契約資産	—	81,141
有価証券	999,924	600,000
製品	1,185,110	1,583,587
仕掛品	238,179	217,503
原材料及び貯蔵品	550,453	576,535
その他	186,287	220,514
貸倒引当金	△5,116	△4,446
流動資産合計	6,418,563	6,289,691
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,615,996	4,651,641
減価償却累計額	△2,850,469	△2,972,194
建物及び構築物（純額）	1,765,527	1,679,446
機械装置及び運搬具	6,306,846	6,479,596
減価償却累計額	△5,190,673	△5,409,118
機械装置及び運搬具（純額）	1,116,172	1,070,477
土地	2,188,288	2,041,296
リース資産	44,243	44,243
減価償却累計額	△23,570	△29,388
リース資産（純額）	20,673	14,855
建設仮勘定	9,776	98,292
その他	2,014,654	2,059,306
減価償却累計額	△1,939,326	△1,960,328
その他（純額）	75,327	98,978
有形固定資産合計	5,175,766	5,003,347
無形固定資産		
その他	133,907	156,820
無形固定資産合計	133,907	156,820
投資その他の資産		
投資有価証券	435,340	1,267,029
長期貸付金	10,744	11,954
繰延税金資産	250,621	274,209
その他	60,368	89,770
貸倒引当金	△1,439	△1,384
投資その他の資産合計	755,635	1,641,579
固定資産合計	6,065,308	6,801,747
資産合計	12,483,872	13,091,438

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当連結会計年度 (2022年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	405,016	371,781
電子記録債務	593,847	564,067
短期借入金	809,172	567,458
リース債務	6,283	6,174
未払法人税等	99,398	115,610
賞与引当金	98,473	101,085
製品補償引当金	—	70,369
その他	588,239	713,483
流動負債合計	2,600,430	2,510,030
固定負債		
長期借入金	420,064	552,610
リース債務	15,825	9,651
役員退職慰労引当金	50,690	58,240
退職給付に係る負債	412,442	434,349
その他	6,400	6,400
固定負債合計	905,422	1,061,251
負債合計	3,505,852	3,571,281
純資産の部		
株主資本		
資本金	878,750	878,750
資本剰余金	963,000	963,000
利益剰余金	7,469,702	7,880,990
自己株式	△350,787	△350,885
株主資本合計	8,960,664	9,371,854
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45,408	55,056
為替換算調整勘定	△28,053	78,234
その他の包括利益累計額合計	17,354	133,291
非支配株主持分	—	15,010
純資産合計	8,978,019	9,520,156
負債純資産合計	12,483,872	13,091,438



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)	当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)
売上高	7,971,299	8,629,744
売上原価	4,856,796	5,133,236
売上総利益	3,114,503	3,496,508
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	136,499	150,455
給料及び手当	872,633	928,946
賞与引当金繰入額	55,431	57,345
退職給付費用	34,098	49,273
役員退職慰労引当金繰入額	7,550	7,550
減価償却費	320,019	276,388
その他	1,315,707	1,493,905
販売費及び一般管理費合計	2,741,941	2,963,865
営業利益	372,562	532,643
営業外収益		
受取利息	1,127	2,573
有価証券利息	6,086	6,699
受取配当金	5,942	6,295
為替差益	46,239	144,872
貸倒引当金戻入額	—	798
受取賃貸料	4,980	—
スクラップ売却益	6,071	9,877
その他	18,119	20,648
営業外収益合計	88,567	191,765
営業外費用		
支払利息	4,482	1,137
その他	671	2,284
営業外費用合計	5,153	3,422
経常利益	455,976	720,986
特別利益		
固定資産売却益	8,429	65,551
投資有価証券売却益	—	824
補助金収入	30,645	9,438
受取補償金	620	1,841
特別利益合計	39,696	77,655
特別損失		
固定資産売却損	3,320	159
固定資産除却損	1,382	1,246
減損損失	—	23,136
製品補償費	—	81,740
特別損失合計	4,703	106,282

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)	当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)
税金等調整前当期純利益	490,969	692,360
法人税、住民税及び事業税	140,650	193,112
法人税等調整額	△1,932	△9,911
法人税等合計	138,717	183,200
当期純利益	352,251	509,159
非支配株主に帰属する当期純利益	—	12,960
親会社株主に帰属する当期純利益	352,251	496,198

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)	当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)
当期純利益	352,251	509,159
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,231	9,648
為替換算調整勘定	35,326	108,338
その他の包括利益合計	48,557	117,986
包括利益	400,809	627,145
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	400,809	612,005
非支配株主に係る包括利益	—	15,140

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	878,750	963,000	7,159,901	△350,787	8,650,863
当期変動額					
剰余金の配当			△42,451		△42,451
親会社株主に帰属する当期純利益			352,251		352,251
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	309,800	—	309,800
当期末残高	878,750	963,000	7,469,702	△350,787	8,960,664

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	32,177	△63,380	△31,202	8,619,661
当期変動額				
剰余金の配当				△42,451
親会社株主に帰属する当期純利益				352,251
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	13,231	35,326	48,557	48,557
当期変動額合計	13,231	35,326	48,557	358,358
当期末残高	45,408	△28,053	17,354	8,978,019

当連結会計年度(自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	878,750	963,000	7,469,702	△350,787	8,960,664
会計方針の変更による累積的影響額	—	—	△33,969	—	△33,969
会計方針の変更を反映した当期首残高	878,750	963,000	7,435,733	△350,787	8,926,695
当期変動額					
剰余金の配当			△50,941		△50,941
親会社株主に帰属する当期純利益			496,198		496,198
自己株式の取得				△97	△97
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	445,257	△97	445,159
当期末残高	878,750	963,000	7,880,990	△350,885	9,371,854

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	45,408	△28,053	17,354	—	8,978,019
会計方針の変更による累積的影響額	—	—	—	—	△33,969
会計方針の変更を反映した当期首残高	45,408	△28,053	17,354	—	8,944,049
当期変動額					
剰余金の配当					△50,941
親会社株主に帰属する当期純利益					496,198
自己株式の取得					△97
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	9,648	106,288	115,936	15,010	130,947
当期変動額合計	9,648	106,288	115,936	15,010	576,106
当期末残高	55,056	78,234	133,291	15,010	9,520,156

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)	当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	490,969	692,360
減価償却費	611,651	573,873
減損損失	—	23,136
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△55	△865
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,697	2,612
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7,550	7,550
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	23,672	21,907
製品補償引当金の増減額(△は減少)	—	70,369
受取利息及び受取配当金	△13,157	△15,568
支払利息	4,482	1,137
為替差損益(△は益)	△349	△27,700
固定資産除売却損益(△は益)	△3,726	△64,145
補助金収入	△30,645	△9,438
売上債権の増減額(△は増加)	△170,303	△47,559
棚卸資産の増減額(△は増加)	△93,767	△259,042
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△46,839	△33,259
仕入債務の増減額(△は減少)	377,944	△147,995
その他の流動負債の増減額(△は減少)	119,235	61,991
未払消費税等の増減額(△は減少)	△36,156	△10,808
その他	△913	△30,941
小計	1,241,287	807,612
利息及び配当金の受取額	13,074	16,147
利息の支払額	△4,453	△1,174
補助金の受取額	25,297	2,970
法人税等の還付額	28,359	10,886
法人税等の支払額	△91,331	△177,637
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,212,233	658,803
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	—	△400,000
有価証券の償還による収入	200,000	500,000
有形固定資産の取得による支出	△208,946	△400,130
有形固定資産の売却による収入	57,726	206,640
無形固定資産の取得による支出	△29,419	△54,453
投資有価証券の取得による支出	△303,621	△805,369
補助金の受取額	6,488	6,468
その他	678	599
投資活動によるキャッシュ・フロー	△277,095	△946,245

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)	当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	—	△300,000
長期借入れによる収入	40,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△303,923	△309,168
リース債務の返済による支出	△6,283	△6,283
自己株式の取得による支出	—	△97
配当金の支払額	△42,433	△50,838
財務活動によるキャッシュ・フロー	△312,640	△166,387
現金及び現金同等物に係る換算差額	24,643	47,342
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	647,141	△406,486
現金及び現金同等物の期首残高	1,607,890	2,255,031
現金及び現金同等物の期末残高	2,255,031	1,848,545

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

国内販売においては、収益認識会計基準適用指針第98項に定める代替的な取扱いを適用し、出荷時から当該製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の期間である場合には、引き続き出荷時に収益を認識することとしております。また、輸出販売においては船積み時に収益を認識しておりましたが、インコタームズ等で定められた貿易条件に基づきリスク負担が顧客に移転した時に収益を認識することとしております。そのほか、一定の期間にわたり充足される履行義務については、期間がごく短い契約を除き、履行義務の充足に係る進捗度を見積もり、当該進捗度に基づき収益を一定の期間にわたり認識する方法に変更しております。なお、履行義務の充足に係る進捗度の見積りの方法は、主に見積工事総原価に対する実際原価の割合(インプット法)で算出しております。

また、顧客から原材料等を仕入れ、加工を行ったうえで当該顧客に販売する有償受給取引については、従来原材料等の仕入価格を含めた対価の総額で収益を認識しておりましたが、原材料等の仕入価格を除いた対価の純額を収益として認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当連結会計年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当連結会計年度の売上高は84,497千円減少し、売上原価は18,025千円減少し、営業利益、経常利益および税金等調整前当期純利益はそれぞれ47,045千円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は33,969千円減少しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当連結会計年度より「電子記録債権」「売掛金」および「契約資産」として表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項および「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、連結財務諸表に与える影響はありません。



(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当社グループの報告セグメントは、「自動車等の関連部品事業」のみであり、「その他の事業」の重要性が乏しいため、記載を省略しております。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

## 1. 製品およびサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：千円)

日本	ヨーロッパ	北米	アジア	その他の地域	計
5,568,093	259,313	933,970	1,118,297	91,624	7,971,299

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
Turn 14 Distribution, Inc.	896,851	自動車等の関連部品事業

当連結会計年度(自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

## 1. 製品およびサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：千円)

日本	ヨーロッパ	北米	アジア	その他の地域	計
5,823,669	244,454	1,317,302	1,151,061	93,256	8,629,744

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
Turn 14 Distribution, Inc.	1,210,493	自動車等の関連部品事業

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

固定資産の減損損失23,136千円は遊休資産にかかるものであるため、報告セグメントへの影響はありません。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額および未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)	当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)
1株当たり純資産額	6,344円69銭	6,717円44銭
1株当たり当期純利益	248円93銭	350円65銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)	当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	352,251	496,198
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	352,251	496,198
期中平均株式数(千株)	1,415	1,415

## 4. 個別財務諸表

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年8月31日)	当事業年度 (2022年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,439,115	1,239,324
受取手形	239	—
電子記録債権	53,200	71,400
売掛金	1,341,753	1,161,030
契約資産	—	81,141
有価証券	999,924	600,000
製品	811,118	1,190,007
仕掛品	168,237	163,335
原材料及び貯蔵品	503,244	515,515
前払費用	31,882	71,098
関係会社短期貸付金	207,940	306,050
未収入金	105,439	91,874
その他	44,255	49,394
貸倒引当金	△13,019	△2,998
流動資産合計	5,693,331	5,537,172
固定資産		
有形固定資産		
建物	951,458	894,130
構築物	194,490	182,133
機械及び装置	823,938	701,750
車両運搬具	96,538	94,113
工具、器具及び備品	46,650	57,065
土地	1,922,359	1,758,572
リース資産	16,541	12,724
建設仮勘定	9,754	22,875
その他	0	0
有形固定資産合計	4,061,730	3,723,364
無形固定資産		
ソフトウェア	100,967	104,837
電話加入権	12,646	12,646
その他	6,906	27,477
無形固定資産合計	120,520	144,960
投資その他の資産		
投資有価証券	426,426	1,257,906
関係会社株式	878,926	878,926
長期貸付金	12,394	11,954
破産更生債権等	349	229
長期前払費用	7,558	7,437
繰延税金資産	181,771	206,043
その他	36,595	36,220
貸倒引当金	△3,250	△1,384
投資その他の資産合計	1,540,771	2,397,334
固定資産合計	5,723,022	6,265,660
資産合計	11,416,353	11,802,833

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年8月31日)	当事業年度 (2022年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	82,169	66,708
営業外支払手形	4,583	28,339
電子記録債務	593,847	564,067
買掛金	213,288	194,548
短期借入金	600,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	164,292	222,578
リース債務	4,122	4,122
未払金	221,545	281,618
未払費用	24,670	26,280
未払法人税等	97,800	91,000
未払消費税等	—	708
前受金	64,193	—
契約負債	—	47,388
預り金	167,741	173,700
賞与引当金	75,552	77,945
製品補償引当金	—	70,369
流動負債合計	2,313,807	2,149,375
固定負債		
長期借入金	316,636	494,062
リース債務	13,398	9,275
退職給付引当金	412,442	434,349
役員退職慰労引当金	42,390	49,390
その他	6,400	6,400
固定負債合計	791,267	993,477
負債合計	3,105,074	3,142,853
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	878,750	878,750
資本剰余金		
その他資本剰余金	963,000	963,000
資本剰余金合計	963,000	963,000
利益剰余金		
利益準備金	55,005	60,099
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	49,891	39,872
別途積立金	5,439,000	5,439,000
繰越利益剰余金	1,231,616	1,575,256
利益剰余金合計	6,775,513	7,114,228
自己株式	△350,787	△350,885
株主資本合計	8,266,475	8,605,093
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	44,804	54,887
評価・換算差額等合計	44,804	54,887
純資産合計	8,311,279	8,659,980
負債純資産合計	11,416,353	11,802,833

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)	当事業年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)
売上高	6,379,499	6,813,608
売上原価	3,742,264	3,881,329
売上総利益	2,637,234	2,932,278
販売費及び一般管理費		
販売運送費	159,833	271,004
給料及び手当	713,408	743,870
賞与引当金繰入額	53,280	55,110
退職給付費用	30,815	46,034
役員退職慰労引当金繰入額	7,000	7,000
貸倒引当金繰入額	6,291	—
減価償却費	290,304	254,416
その他	1,139,987	1,192,700
販売費及び一般管理費合計	2,400,922	2,570,136
営業利益	236,311	362,142
営業外収益		
受取利息及び配当金	48,780	87,487
有価証券利息	6,086	8,073
為替差益	18,755	100,220
受取賃貸料	4,442	4,092
受取事務手数料	6,686	6,704
スクラップ売却益	5,665	8,460
貸倒引当金戻入額	—	11,885
その他	6,687	3,784
営業外収益合計	97,104	230,709
営業外費用		
支払利息	3,932	3,762
その他	79	66
営業外費用合計	4,012	3,829
経常利益	329,404	589,022
特別利益		
固定資産売却益	5,573	63,617
投資有価証券売却益	—	824
受取補償金	620	1,841
補助金収入	19,230	1,470
特別利益合計	25,424	67,753
特別損失		
固定資産除却損	906	1,159
減損損失	—	23,136
製品補償費	—	81,740
特別損失合計	906	106,035
税引前当期純利益	353,922	550,740
法人税、住民税及び事業税	111,088	140,974
法人税等調整額	△19,842	△13,859
法人税等合計	91,246	127,114
当期純利益	262,676	423,626

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金			利益剰余金 合計
		その他資本 剰余金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金			
				固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	878,750	963,000	963,000	50,760	61,555	5,439,000	1,003,972	6,555,287
当期変動額								
利益準備金の積立				4,245			△4,245	—
剰余金の配当							△42,451	△42,451
固定資産圧縮積立金の取崩					△11,663		11,663	—
当期純利益							262,676	262,676
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	—	4,245	△11,663	—	227,644	220,225
当期末残高	878,750	963,000	963,000	55,005	49,891	5,439,000	1,231,616	6,775,513

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△350,787	8,046,249	32,841	32,841	8,079,091
当期変動額					
利益準備金の積立		—			—
剰余金の配当		△42,451			△42,451
固定資産圧縮積立金の取崩		—			—
当期純利益		262,676			262,676
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			11,962	11,962	11,962
当期変動額合計	—	220,225	11,962	11,962	232,188
当期末残高	△350,787	8,266,475	44,804	44,804	8,311,279

当事業年度(自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本							利益剰余金 合計
	資本金	資本剰余金		利益準備金	その他利益剰余金			
		その他資本 剰余金	資本剰余金 合計		固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金	
当期首残高	878,750	963,000	963,000	55,005	49,891	5,439,000	1,231,616	6,775,513
会計方針の変更による 累積的影響額	—	—	—	—	—	—	△33,969	△33,969
会計方針の変更を反映 した当期首残高	878,750	963,000	963,000	55,005	49,891	5,439,000	1,197,647	6,741,543
当期変動額								
利益準備金の積立				5,094			△5,094	—
剰余金の配当							△50,941	△50,941
固定資産圧縮積立金 の取崩					△10,018		10,018	—
当期純利益							423,626	423,626
自己株式の取得								
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)								
当期変動額合計	—	—	—	5,094	△10,018	—	377,608	372,684
当期末残高	878,750	963,000	963,000	60,099	39,872	5,439,000	1,575,256	7,114,228

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△350,787	8,266,475	44,804	44,804	8,311,279
会計方針の変更による 累積的影響額	—	△33,969	—	—	△33,969
会計方針の変更を反映 した当期首残高	△350,787	8,232,506	44,804	44,804	8,277,310
当期変動額					
利益準備金の積立		—			—
剰余金の配当		△50,941			△50,941
固定資産圧縮積立金 の取崩		—			—
当期純利益		423,626			423,626
自己株式の取得	△97	△97			△97
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)			10,083	10,083	10,083
当期変動額合計	△97	372,587	10,083	10,083	382,670
当期末残高	△350,885	8,605,093	54,887	54,887	8,659,980